

# 炊きだしボランティア通信 vol 43

2010. 9月

**炊きだし** 9月11日(土)晴れ 9:00～元寺小路教会(準備) 12:00～五橋公園(炊きだし)

雨が我慢してくれた日でした。同好会から6人参加しました。指示を待たずにバリバリ精力的にかせぐ生徒たちでした。公園には68人(うち女性2人)集まりました。路上に出て1週間という人もいました。市の施設もNPOのアパートも満室で1ヶ月待ちだそうです。

この日はいつもの炊き出しの前に、「亡くなった仲間を偲ぶ会」が行われました。お名前と戒名を書いた位牌が19名分台の上に並び、RA 神父(カトリック塩釜教会)の追悼の祈りとKS 住職親子(徳照寺)の読経がありました。その後全員で焼香しました。炊き出しから戻っての反省会でのW 会長の言。「見ていたら、知り合いの位牌に涙する人などもいらして、しみりしたい会になりました。参加した人たちは、これで安心して死ねると思ったのではなく、あす一日あさって一日への生きる生を得たのではないか。」焼香にボランティアの生徒たちと一緒にになにか普通に参加できたことについて、ボランティア顧問として不思議な幸せ感を持ちました。と同時に浸っている場合でない、耳の奥でガツンという音がしました。(高橋寛)



「私はこの日のボランティアを通して気づかされました。まず、自分がどれだけ幸せなのかということ。また、仕事を教えて下さる方たちも大変親切で優しくて、すごく楽しくよい経験になりました。」



「初めて炊き出しボランティアに参加して、とても中身が濃い一日でした。ものの仕分けとかやっていると楽しかったです。人のために何かするのはやっぱりいいことだと思いました。また、自分の知らないところでこういう活動をしている人がいたんだとびっくりしました。現地の人と関わってみて、いま自分のいる環境って幸せなんだと改めて実感しました。もっともっと人のために手伝いたい。そして何かを得て帰って来たいです。」

「炊き出しボランティアを体験して、1年生の時に1回夏ボラで炊き出しに参加したときにいた人たちが今回もいました。豚汁やおにぎりをつくったり、服や靴の仕分けをしたり、すごく大変だったけど、「ありがとう」と言われて嬉しかったです。ナニゲにすごくやりがいがあって、たくさんの人とも関わられたし楽しくできました。」



「想像していた以上に大変でしたが、学ぶことができたのでよかったです。皆さんがおいしそうに豚汁やおにぎり・おかずを食べていたので、つくってよかったです。皆、テキパキと働いていて、とても役に立ったと思います。次回、今回以上にがんばって働きたいです。」

「前回参加したときよりもボランティアさんもホームレスの人たちも増えていてびっくりしました。今回も、とてもよい経験ができたと思います。」



「今回は路上でなくなった人たちを「偲ぶ会」というものできて、ホームレスの人たちも安心できたのではないかと思います。」





次回は10月9日に参加します。献品などありましたらよろしくお願いします。